

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 文化資源課
 担当名: 博物館・美術館担当
 内線: 6925 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B51	文化遺産調査活用事業		一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財調査費		
事業期間	平成28年度～	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例			宣言項目		SDGsゴール	4, 11
					分野施策	061348 郷土の魅力の創造発信	SDGsターゲット	4-7, 11-4	
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>埼玉の潜在的な歴史文化遺産を掘り起す学術調査を実施し、その成果を広く公開することによって、県民に埼玉の魅力を再発見してもらおう。市町村に対して、文化財の保存活用に関する総合的な地域計画を策定する支援を行う。</p> <p>(1) 無形民俗文化財調査研究費 △164千円 (2) 自然遺産調査研究費 △23千円 (3) 歴史遺産調査研究費 △76千円 (4) 地域の文化財保存活用の地域計画策定支援事業 △223千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 無形民俗文化財調査研究費 県内の無形民俗文化財を掘り起す調査を実施する 2,018千円 イ 自然遺産調査研究費 県内の自然系の文化財を掘り起す調査を実施する 1,099千円 ウ 歴史遺産調査研究費 県内の歴史系の文化財を掘り起す調査を実施する 273千円 エ 地域の文化財保存活用の地域計画策定支援事業 市町村による文化財保存活用地域計画の策定を支援する 288千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 無形民俗文化財のうち「巡り・廻りの民俗行事」についての調査を行い、保存活用のデータとする。 イ 自然系文化遺産のうち「人間川流域の自然」をテーマに調査を行い、保存活用のデータとする。 ウ 歴史系文化遺産のうち「新編武蔵風土記稿」に係る文化財の調査を行い、保存活用のデータとする。 エ 先行事例の調査を行い、市町村職員を対象とした研修会を開催する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>新たな文化遺産を掘り起こし、埼玉の歴史文化の魅力を広く発信することで、県民が文化財と触れ合う機会を増やし、県民としてのアイデンティティを醸成することができる。 市町村による文化財保存活用地域計画の策定を支援することで、地域社会総がかりの文化財の保存活用を推進し、ひいては、観光振興や地域振興につながることを期待できる。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>旅費、需用費等の節約による減。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
普通交付税 (その他教育費) (区分) その他教育費 (細目) 社会教育費 (細節)) 社会教育・文化財保護費 (積算内容) 文化財保護関係補助金等文化財の維持管理経費、旅費、備品購入費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×0.9人=8,550千円									
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△486						△486	3,192	
現計額	3,678						3,678		